

信州大学教職大学院

家族的チーム演習とリフレクションを核とした「学び直し」で高まる教師力

【チーム演習とは】

* 1グループ5名ずつのコースを越えた混成チームで隔週木曜夕刻に拠点校に集まるかオンラインで実施。

1. メンバー構成

公立学校勤務の現職院生と教育学部附属学校勤務の現職教員とストレートマスターを意図的に混在させた学修チームに、研究者教員と実務家教員が複数で協働する指導体制でメンバーは2年間固定。

2. 演習の概要

メンバーが在籍する公立学校又は附属学校の複数の拠点校を会場とし、各自の研究課題に関する内容をレポートしてフリーディスカッションを重ねる。

3. 演習の成果

教員の資質能力向上においては、個人で知識・技能の向上に努力すること以上に、立場や個性の異なる多様な同僚同士がお互いの教育観レベルの語り合いの場の設定することが有効であった。



1学年30名(定員)が6チームに分かれる



	授業科目名	単位	授業のねらい
1年次前期	状況分析チーム演習	1	拠点校の相対的特徴を把握しつつ、拠点校ごとに提出されてくる課題を、様々な観点から分析し、問題の構造を複眼的・多面的に捉える見方・考え方を鍛える
1年次後期	授業・学級づくりチーム演習	1	学級を対象とした課題の明確化と問題解決を想定して、学習指導や生活指導に関する諸課題に対し、演習形式で課題解決を図る
2年次前期	個に応じた教育チーム演習	1	一人ひとりの幼児児童生徒個人に着目し、一斉指導では見落とされがちな個性的な学びやつまずきにも焦点を当てながら、個別的事例のケアを多面的に検討し合う
2年次後期	学校・地域活性化チーム演習	1	学校という枠を越えて、地域社会の様々な人々と連携したコミュニティを形成する視野をもって学校としての課題を考える